

機能一覧

1	市がサーバー等の機器を持たずに利用できるクラウドサービス利用型のシステムであること。
2	サーバー・ストレージ、情報セキュリティ対策機器等の情報システムが設置されている建物(情報処理施設)の重要な物理的セキュリティ境界に対し、従業員及び出入りを許可された外部組織等に対する入退室管理を行い、入退室記録を作成し、適切な期間保存すること。重要な物理的セキュリティ境界に対して監視カメラを設置し、その稼働時間と監視範囲を定めて監視を行うこと。
3	サーバー・ストレージ、情報セキュリティ対応機器等の情報システムは国内法の適用が及ぶ場所に設置すること。
4	複数の端末から同時に管理画面を利用できること。
5	原則、24時間365日利用可能であること。
6	定期的にデータのバックアップを行う仕組みを用意し、最低1日前までの状態に復旧できるようにすること。
7	システム停止を伴うシステムメンテナンスを実施する場合は、30日以上前に市に連絡すること。
8	市のシステム利用者に対して、それぞれ利用者IDを付与し、利用者名、パスワード、利用制限を設定管理できる
9	前日のリマインド、検診中止時にメールによる通知ができること。
10	利用者は対象外の検診に登録することができないこと。(性別・年齢によるもの)
11	利用者の前年度検診歴を基に予約登録ができること(乳がん・胃カメラ)
12	市のシステム利用者情報は、CSV形式で取込み、一括で登録、変更、削除ができること。また、登録しているシステム利用者情報をCSV形式で出力できること。
13	予約者画面(インターネットを通じて市民が利用するサイト)と管理画面(市のシステム利用者が利用する)を用意すること。
14	管理画面は、市のシステム利用者に対して利用権限を設定することにより、操作できる機能を設定できること。
15	予約者画面では、予約可能な空き状況が表示されたカレンダー画面上の日時をクリックすることで、予約登録を行えること。
16	予約者画面では、予約照会、変更、キャンセルを行えること。
17	がん検診予約について予約者が予約を入力する際は、同一人の重複予約を防止できること。
18	予約者画面は、空いている予約枠がカレンダー形式で表示され、予約者が空いている予約枠を選択して予約ができること。
19	予約者画面は、設定された予約枠のうち、残枠のみが表示され、予約枠の総数は表示されないこと。
20	予約者画面に、予約時の注意点などの市民へのお知らせを表示できること。また、市のシステム利用者によるお知らせ画面編集機能を有すること。
21	必要に応じて、予約サイトの公開/非公開を設定できること。
22	管理画面では、予約登録状況をカレンダー形式で表示できること。また、個別の予約内容について入力された内容を確認できること。
23	管理画面では、検診毎又は会場毎に予約時間の設定ができること。
24	管理画面では、予約枠の時間を設定、変更できること。(例:1枠15分など)
25	管理画面では、検診毎又は会場毎に予約枠の最大件数を設定、変更できること。(例:15分あたり4人まで)
26	管理画面では、予約の受付開始(予約日の14日前から予約可能 など)、受付締切(予約日の2日前まで予約可能など)を設定できること。
27	管理画面では、予約キャンセル及び変更の受取締切を設定できること。
28	管理画面では、会場又は検診を指定して、期間中の予約について検索し、一覧表示できること。また、その一覧を帳票印刷ができること。
29	管理簿のデータを、抽出条件を指定してCSV形式で出力できること。
30	管理者は、権限により、予約締切日が過ぎても予約登録ができること。
31	管理者は、権限により、予約枠を超える予約登録ができること。